

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前

【記事の内容を読み取る問題】

1 次は、読書のことについて書かれた新聞の【コラム】（筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事。）です。【コラム】は、全体の内容が1から5までのまとまりに分かれています。これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましょう。

【コラム】 記事の中の▼は、まとまりを表す印です。

1 ▼四月二十三日 ものは、その時その時によつて読みの味わいがちがう」といふものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4 ▼先日、「セロ弾きのゴーシュ」を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の見事な描写に、賢治のすばらしさを実感した。5 ▼世界の人が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

※1「描写」…かき表すこと
 ※2「童心」…子供の心

一 筆者は、「子ども読書の日」について、自分の読書体験を交えながら書いています。その体験が書かれているまとまりを、【コラム】の中の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。 **レベル4～6**

--	--

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点（。）や読点（、）、かぎ（「」「『』）は字数にふくみません。 **レベル7・8**

--	--	--	--

復習シート 第五学年 国語



組
番号
名前

【資料を読み取る問題】レベル6・7

問 山本さんと川上さんは【オムレツのページ】を読み、家でオムレツを作りました。次の【オムレツのページ】と【オムレツを作ったあとの感想】をよく読んで、後の（問い）に答えなさい。

【オムレツのページ】

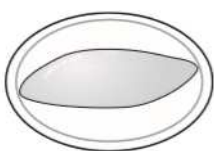
ふんわりやわらか
オムレツ
(調理時間約10分)


材 料 (一人分)

卵……………2個
バター……………5グラム
塩……………少々
こしょう……………少々

作 り 方

- ボウルに卵を割り入れ、溶きほぐし、塩、こしょうで味つけをする。
- 直径18cmほどの小さめのフライパンを強火にかけ、温まったら弱火にしてバターを入れる。バターが溶けきる前に卵を一気に流し入れる。
- フライパンを前後に動かしながら、さいばしで円をえがくように手早く混ぜる。このとき、火が入り過ぎないように、ときどきフライパンを火からおろす。
- 表面が半熟状になってきたら、フライパンの手前側の卵を向こう側へ折り返す。
- 向こう側の卵を手前に折り返す。
- 卵のとじ目が下になるようにお皿に移したらでき上がり。






ポイント


- 卵をよく溶きほぐすためには泡立て器を使うのがこつ。黄身と白身がよく混ざり、でき上がったときにむらがなくなります。
- フライパンに卵を入れるときにチーズを入れると、チーズオムレツを作ることができます。

【オムレツを作ったあとの感想】

「作り方」のとおりに卵を溶きほぐしたのに、黄色いきれいなオムレツにならなかったな。次は白いところが残らないようにしたいな。

少しこげてしまったから、今度はこげないようにしたいな。どこに気をつけたらよいのだろう。


川上さん


山本さん

(出典 平成三十年度 全国学力・学習状況調査)

(問い) 山本さんと川上さんは、オムレツをうまく作るために【オムレツのページ】をもう一度読むことにしました。二人はそれぞれ、どのように読めばよいですか。最も適切なものを次の1から5の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 「材料」の分量を正確に読む。
- 2 文章全体の内容を表す大きな見出しを読む。
- 3 「作り方」の中から必要な内容を探しながら読む。
- 4 絵と文章を結びつけながら読む。
- 5 「ポイント」に書かれた内容に着目して読む。

山本さん・・・

川上さん・・・

復習シート 第五学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【記事の内容を読み取る問題】

1 次は、読書のことについて書かれた新聞の【コラム】（筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事。）です。【コラム】は、全体の内容が1から5までのまとまりに分かれています。これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましょう。

【コラム】 記事の中の▼は、まとまりを表す印です。

1 ▼四月二十三日
は「子ども読書の日」。世界では「世界の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2 ▼子供のころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3 ▼ある作家の言葉に、「読書という

ものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4 ▼先日、「セロ弾きのゴーシュ」を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の見事な描写に、賢治のすばらしさを実感した。5 ▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

※1 「描写」…かき表すこと

※2 「童心」…子供の心

一 筆者は、「子ども読書の日」について、自分の読書体験を交えながら書いています。その体験が書かれているまとまりを、【コラム】の中の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

筆者の読書体験「セロ弾きのゴーシュ」について書いてあるところを見つけてみましょう。

2

4

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点（。）や読点（、）、かぎ（「」「『』）は字数にふくみません。

レベル7・8

読
書
と
い
う

言葉を引用しているということから、「」で書かれている文を見つけてみましょう。

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【資料を読み取る問題】 レベル6・7

問 山本さんと川上さんは【オムレツのページ】を読み、家でオムレツを作りました。次の【オムレツのページ】と【オムレツを作ったあとの感想】をよく読んで、後の（問い）に答えなさい。

【オムレツのページ】

ふんわりやわらか
オムレツ
(調理時間約10分)

材 料 (一人分)

卵	2個
バター	5グラム
塩	少々
こしょう	少々

作り方

白いところが残らない→むらがなくなる
こげないように→火が入り過ぎないように
など、それぞれのうまいかなかったところに気づく必要があります。さらに、その文がどこに書いてあるのかを読み取りましょう。

ように手早く混ぜる。このとき、火が入り過ぎないように、ときどきフライパンを火からおろす。

4 表面が半熟状になってきたら、フライパンの手前側の卵を向こう側へ折り返す。

5 向こう側の卵を手前に折り返す。

6 卵のとじ目が下になるようにお皿に移したらでき上がり。

ポイント

- 卵をよく溶きほぐすためには泡立て器を使うのがコツ。黄身と白身がよく混ざり、でき上がったときにむらがなくなります。
- フライパンに卵を入れるときにチーズを入れると、チーズオムレツを作ることができます。

【オムレツを作ったあとの感想】

「作り方」のとおり卵を溶きほぐしたのに、黄色いきれいなオムレツにならなかったな。次は白いところが残らないようにしたいな。

少しこげてしまったから、今度はこげないようにしたいな。どこに気をつけたらよいのだろう。



（問い）山本さんと川上さんは、オムレツをうまく作るために【オムレツのページ】をももう一度読むことにしました。二人はそれぞれ、どのように読めばよいですか。最も適切なものを次の1から5の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 「材料」の分量を正確に読む。
- 2 文章全体の内容を表す大きな見出しを読む。
- 3 「作り方」の中から必要な内容を探しながら読む。
- 4 絵と文章を結びつけながら読む。
- 5 「ポイント」に書かれた内容に着目して読む。

山本さん・・・

5

川上さん・・・

3